



CONTENTS

- 2 市議会最終日市長発言
- 3 義援金の受付
- 4 上田城千本桜まつり
- 7 市長施政方針
- 10 平成23年度当初予算
- 15 自治会長名簿
- 16 情報びっくあっぷ
- 18 情報あ・ら・かると
- 23 キラリ☆輝くこどもたち！
- 25 情熱地域
- 26 四ツ葉スケッチ
- 28 読者通信

東北地方太平洋沖地震および長野県北部の地震への対応

〔平成23年3月市議会定例会最終日（3月16日）市長発言（要旨）〕



議会最終日に地震への対応を話す母袋市長。

くなられた方々に、改めて衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様からのお見舞い申し上げます。

報じられる壊滅的な被災地の惨状や、刻々と拡大する被害状況を見聞きするにつれ、その未曾有の規模と自然の猛威に茫然とし、また、胸が締め付けられる思いで一杯であります。

上田市におきましては、これらの地震において最大震度4を観測したものの、直接的な被害は確認されておられません。しかし、交通機関の乱れや物流機能の混乱などによって市民生活におよぼす影響も少なからず生じてきており、今後の動向も不透明であります。また、今なお強い余震や、さらに県内や近隣を震源とする地震も頻発するなど、事態の終息が見えない状況であります。

かかる状況下、市民の皆様におかれましては、冷静な行動とともに、あらゆる事態を想定し安全確保に努めていた

だきますようお願い申し上げます。

さて、震災後の救援対応につきましては、今後、支援の輪が一層広がっていくものと思われませんが、上田市におきましても、発生直後の12日に地震対策会議を緊急招集したほか、14日には私を本部長とする災害支援本部を設置し、現時点で行い得る対応を開始しております。

これまでに、消防職員が緊急消防援助隊の長野県隊として、地震発生当日の夕刻に宮城県に向かい活動を続けているほか、今週末には給水支援として上下水道局職員を岩手県に派遣する予定であります。

今週初めからは市として義援金の受付を開始し、また、米や毛布といった備蓄資機材の発送も予定しているところであります。このうち義援金につきましては、多くの団体の皆様も自主的に取り組まれていることに、深い敬意と感謝を申し上げます。

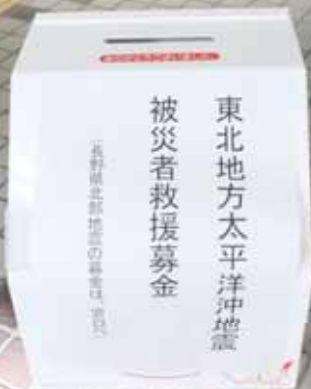
さらに、多くの市民の皆様から救援物資の提供や災害ボランティアへの参加について問い合わせもいただいております。県におきまして本日から東北地方太平洋沖地震の救援物資受け入れを開始したことから、市といたしましても県と連携した受付窓口を開設し、支援に向けた対応を進めてまいります。災害ボランティアにつきましては、社会福祉協議会と連携する中で、現在、その申し出をお受けするに止めさせていただいておりますが、派遣要請があり次第、速やかに対応してまいりますので、何とぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

一方、春のイベントとして計画しております「上田城千本桜まつり」につきましては、震災の規模にかんがみ全面的な中止も検討したところではありますが、開催趣旨を被災地支援に転換し、規模を縮小して実施することといたします。

極めて広範囲に渡り甚大な被災状況となっている中、いまだ非常に多くの皆様の安否が不明な状態にあり、さらに原子力発電所事故による影響も大変憂慮されるなど、国家的危機とも言える状況にあると認識しております。その一方で、日本の対応力に世界各国の視線が注がれ、そして支援の輪が広がっているとの報道は、誠に勇気づけられるものであります。

議会最終日、震災の犠牲者に弔意を表し黙祷が行われた。





被災者の皆さんに温かい気持ちを！ 「東北地方太平洋沖地震」「長野県北部地震」 被災地への義援金の受付

義援金

◆募金箱設置場所

- ・上田市役所(本庁舎、南庁舎、北庁舎、やぐら下庁舎、ひとまちげんき・健康プラザうえだ、丸子・真田・武石・豊殿・塩田・川西地域自治センター)
- ・上田市社会福祉協議会(上田・丸子・真田・武石地区センター、上田市高齢者福祉センター、丸子老人福祉センター、真田老人福祉センター)

◆募金箱設置期間

3月14日(月)から当面の間(土日・祝日を除く)

◆受付時間

午前8時30分～午後5時15分

◆送金先

皆様から寄せられた義援金は、東北地方太平洋沖地震の被災地には、日本赤十字社を通して、また、長野県北部地震の被災地には、栄村震災義援金受付口座へ送金します。

◆その他

義援金は、所得税等の寄附金控除の対象となります。領収書が必要な方は、福祉課、および各地域自治センター窓口までお申し出ください。



3月11日(金)午後発生した「東北地方太平洋沖地震」と、翌日未明に起きた「長野県北部地震」は、各地に広範囲かつ甚大な被害をもたらしました。
被災を受けた皆様には、心からお見舞いを申し上げます。
大きな被害を受け避難を余儀なくされている住民の皆さんが、一日も早く、平穏な生活を取り戻すことができるよう、次のとおり義援金の募金の受け入れを行っています。
被災者の皆さんへの支援にご協力をお願いします。

救援物資

被災者の皆さんに必要な救援物資を、3月16日～27日までの間、市役所および社会福祉協議会で受け付けました。毛布、水、おむつ、マスク、トイレットペーパーなど15品目について、大変多くの市民の皆様からご協力をいただきました。

この救援物資は、市が直接被災地へ搬送したり、上小地方事務所を通じて長野県が搬送しています。また、被災地の支援に赴く市内のNPO法人などに託して、お届けしたものもあります。



3月18日、宮城県白石市、蔵王町に非常食・毛布などの物資を届けるため、また、宮城県塩竈市に給水支援を行うため、職員を派遣しました。

最新情報は、上田市ホームページなどで随時お知らせしていきます。

2011上田城千本桜まつりは 被災者支援イベントへ

3月11日・12日に発生した「東北地方太平洋沖地震、長野県北部地震」は、各地に甚大な被害をもたらしました。国を挙げて、被災者救援を実施している中、上田市も様々な支援を行っています。

そうした中で、今年の上田城千本桜まつりは開催趣旨を被災地支援に転換し、次のテーマのもと規模を縮小して実施することになりました。

何とぞご理解いただき、格別のご支援とご協力をお願いします。なお、まつり開催期間の変更はありません。

「テーマ」

- ①義援金や支援の気持ちを送ること。
- ②市民の力を結集して被災地に元気を発信すること。
- ③縮みがちな気運を打ち破り地域活力を増進すること。

開催期間

4月4日(月)～24日(日)

2011上田城千本桜まつり 開催概要

このたびの地震災害により被災された方々へ義援金や支援の気持ちを届けるため、当初の予定を変更して開催します。

まつり期間中は、会場内で被災者支援のための義援金を募ります。
ご協力をお願いします。



昨年の「上田城 城灯りの景」の様子

2011上田城 城灯りの景 ～春の夜を彩る「灯」と「響」の『祈り』～

第3回上田城 城灯りの景は、東日本大震災により被災された地域が1日でも早く復興できるよう「祈り」を含め、上田城跡公園に行灯(キャンドル)を配置し、皆さんからの被災地の方々に対するメッセージを募り灯します。また、信州上田一歌と愛を細大使ー三代目コロムビア・ローズさんのミニライブと、シンガーソングライターのさだまさしさんを父に持つ、大陸さんと詠夢さんのインスト兄妹ユニット「Time」によるミニライブを「応援ライブ」として開催します。

日時 4月23日(土)午後6時30分～9時(予定)

場所 上田城跡公園内

元気鍋

日時 4月4日(月)～17日(日)午前10時～午後4時

場所 上田城跡公園管理事務所前

内容 信州味噌を使用した味噌汁を配布します。テント内には義援金受付箱を設置します。マイ箸・お椀の持参にご協力ください。

観光物産展

日時 4月8日(金)～17日(日)午前10時～午後4時

場所 上田市民会館駐車場、上田城跡公園管理事務所前

内容 上田地域の地場産品を数多く取りそろえ、展示即売します。

【新企画】信州上田うまいもん大集合

日時 4月9日(土)・10日(日)午前10時～午後3時

場所 上田城跡公園管理事務所前

内容 上田ならではの「食」を通じて上田市を盛り上げたいという志をもつ市内団体・事業者の皆さんが腕をふるう「上田のうまいもん」が大集合します。出展料理など詳しくは、上田市ホームページの信州上田観光情報をご覧ください。

「響け、ぼくたちの思い、東北の空へ」(上田城での和太鼓の演奏)

日時 4月24日(日)午前9時～午後4時(予定)

場所 上田城跡公園芝生広場

内容 上田城から発信～被災地「復興祈願」ジュニアチームの和太鼓演奏



上田城千本桜まつりは、千人力で被災者へエールを送ります。

問 市観光課 TEL23・5408

2011上田城千本桜まつり 開催概要



臨時観光案内所

- 日時** 4月4日(月)～17日(日)午前10時～午後4時
- 場所** 上田市民会館駐車場特設テント
- 内容** 上田観光ボランティアガイドの会やEGG(English Guide Group)会員が、上田城跡公園内や市内各所のご案内等を行います。

観光会館おもてなしコーナー・赤ちゃんステーション

- 日時** 4月4日(月)～24日(日)午前9時～午後8時
- 場所** 上田市観光会館2階
- 内容** 上田城跡公園向かいの観光会館2階を、無料休憩所として開放します。そば茶をご用意します。赤ちゃんの授乳やおむつ替えにもご利用ください。

上田城千本桜俳句会

- 期間** 4月4日(月)～24日(日)
- 内容** 「城」、「桜」、「(上田)紬^{つづ}」をテーマに行います。入選作品(佳作を含む)は、6月上旬、上田市ホームページ、市内公民館などへ掲出します。上田城跡公園内、市内公共施設等に投句箱を設置します。

上田観光ボランティア 元祖 シャッターマン

- 期間** 4月4日(月)～24日(日)
- 内容** 櫓門前など城跡公園内で、シャッターマンが記念写真撮影のボランティアを行います。

上田城甲冑隊 信州上田子ども十勇士隊

- 期間** 4月9日(土)・10日(日)・16日(土)・17日(日)
- 内容** 手作りの甲冑をまとう甲冑隊・十勇士隊が櫓門前に登場し、記念撮影に応じます。甲冑の試着体験もできます。

問 市観光課 TEL23・5408

中止するイベント

●千本桜ライトアップ

4月4日(月)～24日(日)まで予定していた、内堀周辺、けやき並木などのライトアップは中止します。

●ステージイベント「遊芸の宴」

4月9日(土)・10日(日)に、市民会館駐車場で予定していたステージイベントは中止します。

●第29回上田真田まつり

4月16日(土)に上田城跡公園陸上競技場、中心市街地で予定していた上田真田まつりは中止します。



平成23年度 3月市議会定例会市長施政方針

（要旨）

魅力あふれる

上田地域定住自立圏を創造

◆はじめに

新生上田市としての船出から5周年を迎えますが、一体感の醸成やスケールメリットを生かした制度の統一などの基盤固めに努めた揺籃期を経て、現在、市は更なる高みを目指した成長・発展期にあります。合併以降の順調な市政経営を支えていただきました市民の皆様、議員各位に心から感謝申し上げます。

◆上田地域
定住自立圏の創造

地域の母都市として取り組む「定住自立圏構想」については、去る2月3日に全関係市町村長同席のもと、私から「中心市宣言」を行い、圏域の中心的な役割を果たしていく意思を表明いたしました。新年度は、協定締結など圏域形成に向けた取り組みを推進し、

魅力あふれる上田地域定住自立圏の創造を目指してまいります。

◆地域医療再生と
産院移転新築

4月に「信州上田医療センター」と改称する長野病院には、高度医療提供と研修医の教育などを実践する「地域医療教育センター」の開設とあ

わせ、地域の中核病院として新たな一歩を踏み出されることを期待しております。市では、信州上田医療センターと連携する信州大学の先生方による公開講座の開催など、地域全体で医療体制を支える機

運の醸成に向けた支援を検討してまいります。

一方、産院の移転新築事業については、立体駐車場が間もなく竣工し、引き続き施設本体の建設に着手する予定です。来春の開設に向け、着実な工事の推進を図るとともに、円滑な移転への準備を進めてまいります。

◆交流・文化施設の
整備

交流・文化施設の大ホールについては、これまで1700席程度としておりましたが、利用やコストの面からバルコニーを1層減ら

し、座席数を1530席程度とする判断をしました。一方で、整備計画に掲げる理念や一流アーティストの公演を含む様々な事業展開に対応可能とすることも大切な要素であるため、簡易的な座席や立ち見スペースなどを設け、最大1650名程度の収容人員を確保し、規模的にも多様な興行などに対応できるホールとしてまいります。

4月には、基本プランを市民の皆様にご説明申し上げ、改めてご意見などをお聴きし、実施設計や運営管理計画を整えてまいります。

◆経済動向と
経済・雇用対策

景気の先行きが不透明な中、上田地域の有効求人倍率は足踏み状態が続いていることから、雇用対策については継続的に実施する必要があると判断し、新年度においても新規雇用240人規模、約

2億3800万円の事業費を計上しました。また、新たな緊急経済対策として創設した住宅リフォーム補助事業については、受付開始から1週間で、約100件分を見込んだ予算額に達する程の申請状況となりました。新年度は、引き続き約900件分相当を予算計上しています。今後も、市民生活の安定を第一に、引き続き「経済対策・雇用対策」を最重要課題の一つとして位置付け、必要な施策を遅滞無く、切れ目無く実行してまいります。

◆上田市総合計画の後期
計画の策定に向けて

市政の羅針盤と呼ぶべき「第一次上田市総合計画」は、平成24年度から後期4年の計画期間を迎えるため、その策定作業に鋭意取り組んでおります。昨年10月に60名の委員の皆様による総合計画審議会を組織して以降、熱心な議論が重ねられ、この3月末には中間答申をいただく予定です。その後、市民の皆様から広くご意見を伺う機会を設け、最終答申を経て議会に提案してまいります。

経済雇用対策に必要な施策を
遅滞無く、切れ目無く
実行してまいります。

第一次上田市総合計画の 六つのまちづくり大綱に基づく 市政経営を推進してまいります。

「第一次上田市総合計画」前期基本計画の最終年度となる平成23年度の市政経営に臨む所信の一端を、総合計画における六つのまちづくり大綱に沿って申し上げます。

○コミュニティ・自治

今定例会に自治基本条例を提案いたしました。策定過程において、検討委員会で真剣な議論をいただいたほか、市民の皆様から多くのご意見が寄せられるなど、これからのまちづくりに対する意欲と熱意が示されたことを、大変心強く受け止めております。

今後は、条例に掲げる理念の周知・啓発とともに市民のエンパワーメントを図る活動を広め、一人ひとりが上田市民としての誇りと責任を自覚し、市政の主役として積極的に参加し協働するまちづくりの実践につなげてまいります。

○産業・経済

地域の経済情勢については、緩やかに回復しつつあるものの、その動向は予断を許しません。そこで地域産業を取り巻く現状や課題、地域の資源や強みを再検証し、市が目指す産業振興の方向性や中小企業支援のあり方について、総合的なプランをまとめてまいります。

また、中小企業の海外市場における販路開拓の支援に向け、従前の補助制度を見直し、海外の展示会などへの出展経費を新たに助成対象とするとともに、国内出展経費の助成限度額の引き上げを実施いたします。

農業については、地産地消を始めとする振興策の一層の推進を図ります。また、深刻な問題となっている野生鳥獣による農作物被害への対策に、積極的に取り組んでまいります。

○自然・文化

LED照明は消費電力が少なく長寿命であることから、環境に優しい照明として普及が進んでおります。そこで、自治会が設置する防犯灯の新設および交換においてLED化を進めるための補助制度を創設し、省エネルギーの推進にも積極的に取り組んでまいります。

松くい虫対策については、伐倒処理などにより被害の拡大防止に努めておりますが、その動向は予断を許しません。引き続き、国・県などの関係機関および地域の皆様と協力した対応に努め、豊かな恵みをもたらす松林の保全に取り組んでまいります。

感性豊かな子どもたちに芸術の楽しさを体験してもらうことを目的とした芸術家学校派遣事業については、長年「上田城跡能」を開催してきた実績を生かし、わが国を代表す

る古典芸能である「能楽」も新たに取り入れ、事業の充実を図ってまいります。

また、郷土が誇る版画家・洋画家である山本鼎の精神を継承する「山本鼎版画大賞展」を今年秋に開催いたします。

上田市らしい文化的土壌をさらに豊かにするための大切な役割を果たすものと捉えております。

○生活環境

快適で清潔な暮らしの実現に欠かせない上下水道については、新年度から利用料金の

統一を迎えることとなります。下水道の全体普及率は、平成22年度末で約97%となる見込みであり、上田・丸子地域の未整備地区につきましては、引き続き整備を進め、一日も早く各家庭で下水道接続ができるよう事業を推進してまいります。

道路網などの整備については、平成21年度に事業化となりました国道18号上田バイパス第二期工区の延伸区間である市内国分から東御市本海野間4・1kmの基本設計が整い、地元との設計協議が進められ



ています。また、国道152号丸子バイパスの早期事業化に向けた国・県への要望や、国道144号上野バイパス二期・三期工区の整備促進など、引き続き関係機関との連携を強化し取り組んでまいります。

安全・安心なまちづくりにについては、頻発する自然災害への迅速かつ的確な対応や、正確な避難情報などの提供に向け、全庁的な危機管理体制の強化に取り組んでおります。また、災害発生時は、自治会を中心とする自主防災組織の役割も重要となることから、対応マニュアルの作成や、自治会や市の防災拠点への「土のう」の配備を進めております。

公共交通機関の利用促進については、上田市街地および丸子地域で実証運行している循環バスの利用者が増加している状況を踏まえ、継続運行してまいります。市民の皆様の一層の利用をお願いいたします。

○健康・福祉

課題である糖尿病予防に力を入れるとともに、関係機関と連携した食育の推進に向け

「上田市食育推進計画」を策定するなど、生涯を通じた健康づくりの促進に努めてまいります。また、2月に高校1年生相当年齢の女子を対象に開始した子宮頸がん予防ワクチンの公費接種は、4月以降、中学1年生相当年齢から高校1年生相当年齢まで対象を広げるとともに、乳幼児に対するヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を開始し、感染症予防対策の充実を図ってまいります。

保育園の保育料については、これまでも、国の徴収基準額に対して約25%を軽減するとともに、同時通園する場合や第3子以降の児童などを対象とする市独自の軽減措置を設けてまいりました。新年度からは、国の基準額に対しておおむね30%の軽減となるよう保育料の引き下げを行うとともに、世帯所得などに応じた階層区分の細分化によって、より一層の負担軽減につ

なげてまいります。

平成23年度の高齢者福祉施設の基盤整備については、定員100名の特別養護老人ホームを1か所、地域密着型サービスとして小規模多機能型居宅介護など6種類のサービスを計13か所、更に、介護付有料老人ホームを2か所と、計画に基づいたすべての整備を行い、開設を目指してまいります。

○教育

安全・安心な学校づくりにについては、喫緊の課題として重点的に取り組んでいる学校施設の耐震化を、更に進めます。今年度中に対象となる施設の耐震診断を完了した上で、小中学校施設の耐震化に向けた補強整備計画を策定し、計画的な改築・補強工事に取り組んでまいります。

平成23年度は丸子図書館の建設に着手いたします。老朽化した丸子金子図書館を、カ

ネボウ跡地に新築移転するもので、交流スペースなどにも配慮するとともに、ICTタグによる自動貸し出しシステムへの導入を予定しております。平成24年度のオープンに向け、ボランティアの皆様との

3月市議会定例会の初日(2月21日)に施政方針演説する、母袋創一市長。



協働によって取り組んでまいります。

◆行財政改革の推進など

市民参加・公開型事業仕分けの手法を取り入れた取り組みは「市民による事業評価」と銘打ち、2月5日・6日に実施しました。評価結果は、年度内の方針決定に向けて進める最終評価の中で、貴重な判断材料としてまいります。

市民による事業評価結果は、
最終評価の中で
貴重な判断材料としてまいります。

平成23年度当初予算 一般会計予算額は、 3.0%増の約657億円

平成23年度当初予算が、市議会3月定例会で可決されました。

一般会計は、市民の皆さんの生活に密着した福祉や教育、道路や公園の整備など、市政の基本となる会計です。今年度は656億9861万円で、前年度と比較して3.0%、18億9797万円の増となりました。

低迷を続ける地域経済が一刻も早く自律回復できるよう新規雇用者240人規模、約2億3800万円の緊急雇用対策事業や経済対策に取り組むとともに、第一次総合計画に盛り込まれた事業を着実に進めるための施策、事業の積極的な展開を図る内容としました。

歳入

歳入は、市民の皆さんに納めていただく市税などの「自主財源」と、国や県の補助金などの「依存財源」に分けられます。23年度の当初予算では、自主財源が約49%、依存財源が約51%となっています。

市税196億848万円は
全体の約30%

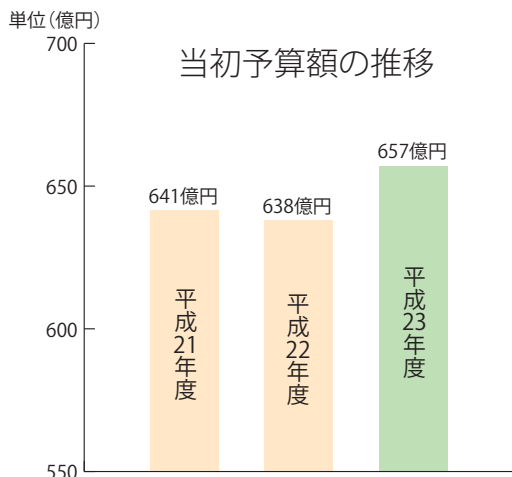
歳入の約3割を占める市税は、前年度と比較して0.2%、3369万円の減を見込んでいます。このうち個人市民税は、個人所得が依然減少傾向にあることから5.7%減の58億7348万円、法人市民税は、景気に一定の回復基調が見られるため38.7%増の14億5000万円を見込んでいます。

地方交付税は約3%の増

歳入で、市税に次いで22.1%と大きな比率を占める地方交付税は、地方財源の充実を図るといふ国の方針により、前年度と比較し3.2%、4億5000万円の増を見込んでいます。

市債は合併特例債などの活用で約21%の増

市債は、前年度と比較して21.2%、12億3190万円増の70億3230万円を見込んでいます。増となる主な理由は、川西地域自治センター、城南公民館、丸子図書館の整備事業に合併特例債を活用するためです。市債の約90%は、返済に対する国の支援が手厚い合併特例債と臨時財政対策債です。



問 市財政課 TEL23・5113

諸収入 77億8,054万円(11.8%)
貸付金の元利収入、預金の利子、雑収入など

その他 73億3,572万円(11.2%)
保育料など特定のサービスを受けた方々からいただくお金や、国や県から一定の割合で配分されるお金

【その他の内訳】
地方消費税交付金
使用料および手数料
分担金および負担金など

県支出金 32億5,295万円(5.0%)
市が行う特定の事業に対して県から交付されるお金

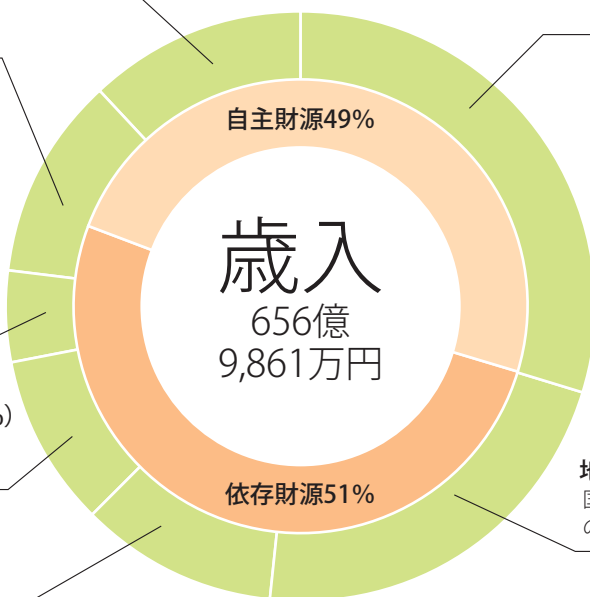
国庫支出金 61億8,862万円(9.4%)
福祉援助や道路建設など国から交付されるお金

市債 70億3,230万円(10.7%)
道路や学校などを整備するために国や金融機関などから借り入れるお金

市税 196億848万円(29.8%)
皆さんから納めていただく市民税や固定資産税など

【市税の内訳】
個人市民税 58億7,348万円
法人市民税 14億500万円
固定資産税 98億3,400万円
その他 24億9,600万円

地方交付税 145億円(22.1%)
国税(所得税や法人税など)として集められた財源のうち、市に再配分されるお金(地方固有の財源)



〔注〕表示単位未満を四捨五入しているため、合計額等は一致しない場合があります。

歳出

厳しい経済状況のなか、財源見通しが不透明な状況ですが、市町村合併による効果や経費の節減で生み出した財源に加え、合併特例債や基金の活用により、新規事業や充実事業を計上しています。

歳出全体の約29%は民生費

歳出のなかで最も大きな比率を占める民生費は、歳出全体の29・1%を占め、予算額は190億8871万円です。前年度と比較すると4・2%、7億6693万円の増を見込みます。これは、子ども手当や障がい者自立支援給付費・生活保護費などの扶助費の増が主な理由です。

総務費が約12%の伸び

前年度から大きな伸びがあるのは総務費で、前年度と比較して11・8%、6億7351万円の増を見込んでいます。これは、川西地域自治センター整備事業と交流・文化施設建設事業の開始や、防犯灯をLED照明へ交換する費用に対する補助制度の新設が主な理由です。

このほか、土木費も市道新設改良費や住宅リフォーム補助金の増などにより、前年度と比較して4・9%、4億6154万円の増を見込んでいます。

市民一人あたり約41万円の歳出

一般会計の予算額657億円を上田市の人口で割ると市民一人あたり約41万円になり、昨年度より約1万円の増となりました。このページの最後に、主な費目別に一人あたりの予算額を紹介しています。

消防費 17億3,460万円(2.6%)

救急・消防のために

農林水産業費 25億 384万円(3.8%)

農業・林業の振興のために

衛生費 41億4,707万円(6.3%)

健康づくりやごみ処理などのために

商工費 57億8,090万円(8.8%)

商工観光業の振興のために

総務費 63億6,302万円(9.7%)

広報の発行や住民票の交付などの市の一般的な事務のために

教育費 66億8,465万円(10.2%)

小中学校の建設や子どもたちの教育などのために

その他 8億5,487万円(1.2%)

【内訳】

- ・議会費 4億5,951万円 0.7%
- ・労働費 2億9,536万円 0.4%
- ・予備費 1億円 0.1%

民生費 190億8,871万円(29.1%)

高齢者や障がい者などの福祉や子育て事業のために

土木費 98億9,763万円(15.1%)

道路や河川などの整備、公園や市営住宅の管理のために

公債費 86億4,334万円(13.2%)

公共施設の整備などのために、借りたお金の返済のために

歳出

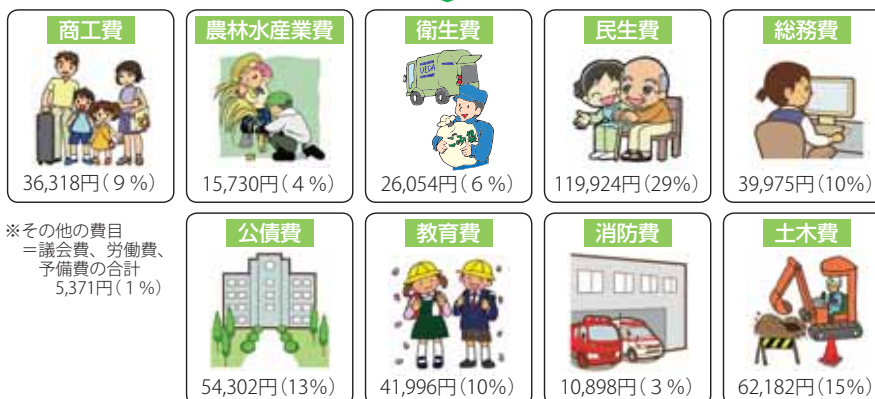
656億
9,861万円

市民一人あたりでみると…

約41万円

人口：159,173人

(平成23年2月1日現在)



～福祉や子育て事業のために～

民生費

○介護予防・生活支援事業…………… 2億2,082万円
高齢者が健康で、自立した生活が送れるよう、各種の生活支援サービスを行います。また、介護者の身体的・精神的負担が軽減できるよう介護者支援サービスを行います。

○公立保育所耐震診断および耐震補強事業…………… 1,214万円
塩川保育園の耐震診断および東部保育園の耐震補強工事を行います。

○放課後児童クラブ施設整備事業
(塩川児童クラブ移転改修)…………… 907万円
塩川保育園に設置されている塩川児童クラブを塩川小学校へ移転するため、塩川小学校の余裕教室を改修します。

その他の主な事業

○子ども手当支給事業…………… 35億3,280万円

○放課後児童クラブ運営事業

(児童クラブ・学童保育所)…………… 1億8,848万円

○児童館運営事業…………… 6,962万円



神科児童センター

○緊急通報装置設置事業…………… 2,946万円

○住宅手当緊急特別措置事業…………… 1,224万円

○認可外保育施設助成事業…………… 1,103万円

○発達相談センター事業…………… 649万円

～道路や河川などの整備のために～

土木費

○交通運輸対策事業…………… 3億5,553万円
市内の公共交通を維持するために、廃止路線代替バス運行費補助や別所線運行のための支援を行います。

○住宅リフォーム補助金…………… 9,000万円
市民の皆さんが、地元業者による住宅リフォームを行う際に、費用の一部を助成します。

その他の主な事業

○市道新設改良事業(上田橋中島線ほか)…………… 15億7,945万円

○交通安全施設整備事業(黒坪長島線ほか)…………… 3億1,145万円

○街路整備事業(櫓下泉平線ほか) …… 2億6,629万円

○市営住宅改修事業
(下水道接続、給湯器・浴槽設置ほか) …… 9,301万円

新 上田駅お城口公衆トイレ改修事業 …… 3,050万円

新 優良建築物等整備事業補助金 …… 1,880万円

～市の全般的な事務のために～

総務費

新 川西地域自治センター整備事業…………… 4億5,532万円
川西地域自治センター、川西公民館等を含めた総合コミュニティセンターとして整備し、地域住民との協働によるまちづくり推進の活動拠点とします。



川西地域自治センター完成イメージ図

○交流・文化施設建設事業…………… 2億9,419万円
「文化の薫る創造都市」実現に向け、大・小ホール、美術館、交流施設、緑地・広場など様々な機能を併せ持つ交流・文化施設を整備します(23年度は実施設設計)。

その他の主な事業

新 住民基本台帳法改正に伴う住民情報システム更新事業 …… 1億5,526万円

新 防犯灯のLED照明補助事業(新設・交換)…………… 6,348万円

新 固定資産税評価替基礎資料整備事業…………… 2,462万円

新 新生上田市 5周年記念事業…………… 1,500万円

～商工観光業の振興のために～

商工費

○中小企業金融対策事業…………… 45億 812万円
中小企業融資要綱に基づき、資金制度の融資枠を確保します。23年度は、雇用の拡大を図るため、新規開業資金のあっせん之际し、新たな利子補給制度を設けます。

新 武石番所ヶ原スキー場整備事業…………… 4億2,300万円
武石番所ヶ原スキー場が、より安全で利用しやすいスキー場となるよう、リフトの移設、ゲレンデの造成などを行います。



武石番所ヶ原スキー場

その他の主な事業

○商工業団体支援事業 …… 5,852万円

○信州上田まつり実行委員会負担金 …… 3,433万円

○温泉地・スキー場地区再生モデル事業補助金…………… 2,004万円

○丸子地域中心市街地再生支援事業補助金 …… 958万円

○販路拡大支援事業補助金 …… 460万円

一般会計の主な使いみち

市の予算は、道路の建設のために使う土木費、教育のために使う教育費と、目的別に区分しています。この区分ごとの主な事業を紹介しています。

～農業・林業の振興のために～
農林水産業費

- 有害鳥獣防除対策事業…………… 3,445万円
ニホンジカやイノシシなどの有害鳥獣からの農作物を守る取り組みとして、捕獲、防護、環境整備の三つの対策を実施します。



- 松くい虫防除対策事業…………… 1億4,438万円
松くい虫被害の拡大を防ぐため、伐倒駆除、地上薬剤散布、樹幹薬剤注入、樹種転換などを実施します。

その他の主な事業

- 市単土地改良事業（農道整備、水路改修など）…………… 1億7,935万円
○地籍調査事業…………… 2,988万円
○中山間地域農業直接支払交付金…………… 2,789万円

～雇用の促進と労働者福祉のために～
労働費

- 新**雇用対策セミナー…………… 177万円
雇用状況の変化と景気後退により、多様化する勤労者のニーズに対応するため、勤労者福祉センターに雇用促進室を移し、新たな就業支援サービスを開始します。

その他の主な事業

- 勤労者住宅建設資金・生活資金融資預託金…………… 1億3,500万円
○雇用創出奨励補助金（22年度雇い入れ分）…………… 4,500万円

～救急・消防のために～
消防費

- 耐震性貯水槽新設事業…………… 2,600万円
震度7程度まで耐えることができる、耐震性貯水槽を5基設置します。

その他の主な事業

- 消防団車両等整備更新事業…………… 4,400万円
○消防団詰所整備事業…………… 3,392万円

～借りたお金の返済のために～
公債費

- 市債の元利償還金…………… 86億4,334万円

～健康づくりやごみ処理などのために～
衛生費

- 周産期医療緊急対策事業…………… 1億 780万円
医師・助産師の確保を目的とした修学資金貸与制度の実施や、産院の経営支援を行います。

- 新エネルギー活用施設設置費補助金…………… 3,060万円
地球温暖化対策の一つとして、太陽光発電・太陽熱高度利用システムの導入に対し補助金を交付します。

新休日歯科救急センター施設改修費補助金

…………… 1,264万円

上田小県歯科医師会が「休日歯科救急センター」を開設するための施設整備費を支援します。

その他の主な事業

- 子宮頸がん等ワクチン接種事業…………… 2億6,994万円
○妊婦一般健康診査事業…………… 1億7,815万円
○内科・小児科初期救急センター管理運営事業…………… 5,849万円
○資源物回収促進交付金…………… 3,275万円

～子どもたちの教育などのために～
教育費

- 新**丸子図書館整備事業…………… 5億7,060万円
24年度のオープンに向け、老朽化した丸子金子図書館を、カネボウ跡地に新築移転します。真田図書館に続きICタグによる自動貸し出しシステムの導入を予定しています。



- 新**城南公民館建替事業…………… 4億4,040万円
社会教育やコミュニティ活動拠点施設の一つとして、24年度の開館に向け建替工事に着手します。

その他の主な事業

- 塩田中学校改築事業…………… 6億3,333万円
○傍陽小学校改築事業…………… 2億4,314万円
○幼稚園就園奨励費補助金…………… 9,989万円
○児童生徒就学援助事業…………… 9,574万円
○学校施設耐震補強事業…………… 6,666万円
新真田運動公園ランニングコース整備事業…………… 2,200万円
○高校通学費補助金…………… 1,300万円
○芸術家学校派遣事業…………… 78万円



その他の会計と市債・基金現在高

特別会計 約295億円

特別会計は、特定の事業や資金などについて、その収支を明確にするために一般会計と分けた会計です。介護保険事業特別会計が介護サービス給付費の増などにより前年度より3億4,741万円増えた一方、土地取得事業特別会計、交通災害共済事業特別会計などの減により、全体では1.0%、2億9,330万円の減となりました。

◎平成23年度特別会計予算一覧

事業名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	増減率(%)	事業のあらまし
土地取得事業	4億円	12億5,000万円	△8億5,000万円	△68.0	土地の取得に関する事業
塩田有線放送 電話事業	8,042万円	3,694万円	4,348万円	117.7	平成22年度末の事業廃止に伴う、施設および外部設備の撤去工事など
交通災害共済事業	1,590万円	5,232万円	△3,642万円	△69.6	会員が万一交通事故にあった時、見舞金を支払う助け合いの制度 *平成22年4月から、長野県民交通災害共済組合へ移行
同和地区住宅新築 資金等貸付事業	4,795万円	5,586万円	△791万円	△14.2	住宅新築資金などの貸付事業
国民健康保険事業	144億9,462万円	142億9,257万円	2億205万円	1.4	0歳～74歳までの方で、自営業など他の健康保険に加入していない方のための医療保険事業
老人保健事業	—	1,409万円	△1,409万円	皆減	高齢者(75歳以上)および65歳以上で一定の障がいがある方への医療費給付事業(平成20年3月以前の診療分のみ)平成22年度末で廃止し、清算事務を一般会計へ移管
後期高齢者医療事業	15億3,295万円	14億7,650万円	5,645万円	3.8	高齢者(75歳以上)および65歳以上75歳未満の一定の障がい認定を受けている方を対象とした医療制度
介護保険事業	124億4,293万円	120億9,552万円	3億4,741万円	2.9	介護が必要となった方への保険給付事務、介護予防サービスなどの事業
社会福祉授産事業	6,457万円	6,333万円	124万円	2.0	障がいを抱えた方一人ひとりの能力や希望に沿った就労の支援事業(上田・武石の2事業所)
駐車場事業	1億8,905万円	1億8,907万円	△2万円	0.0	上田駅お城口・温泉口にある市営駐車場の管理運営事業
市街地再開発事業	1億1,929万円	1億5,045万円	△3,116万円	△20.7	上田駅前ビル、パレオの管理事業など
武石診療所事業	1億5,118万円	1億5,550万円	△432万円	△2.8	24時間往診体制をとっている公立の診療所(内科・外科など)事業
特別会計合計	295億3,885万円	298億3,215万円	△2億9,330万円	△1.0	



市債現在高(見込み) 約1,539億円

市では、学校、道路、下水道などの公共施設の整備をする場合に市の借金にあたる市債を活用しています。市債の活用により、公共施設整備の財政負担を複数の年度に分け、計画的な財政運営を行うことができます。

◎市債の年度末現在高見込額

区分	平成23年度末	平成22年度末
一般会計	690億3,011万円	694億6,866万円
特別会計	11億6,780万円	14億555万円
企業会計	837億3,294万円	862億2,182万円
合計	1,539億3,085万円	1,570億9,603万円

基金現在高(見込み) 約178億円

市の貯金ともいえる基金は、今年度合計で5,799万円を積み立て、12億5,885万円を取り崩し、事業実施のために活用します。

◎基金の年度末現在高見込額

区分	概要	平成23年度末	平成22年度末
財政調整基金	災害など不測の事態や将来の大きな事業に備えて、財政の健全な運営のため積み立てる基金	31億3,812万円	33億3,812万円
減債基金	公債費の償還を計画的に行うための基金	26億931万円	29億931万円
その他特定目的基金	事業の実施などの特定の目的のために積み立てる基金	97億6,804万円	104億6,908万円
定額運用基金	土地の取得など特定の目的のために定額の資金を運用する基金(例：土地開発基金)	22億5,077万円	22億5,060万円
合計		177億6,624万円	189億6,711万円

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、合計額等は一致しない場合があります。

企業会計 約161億円

企業会計は、水道料金などの収益によって運営される独立採算の会計です。企業会計全体の予算は、160億5,014万円で、前年度と比べると2.5%、4億1,537万円の減となっていますが、産院事業会計の予算額は、信州上田医療センター(旧長野病院)隣接地への移転新築事業により大きな伸びを示しています。

◎平成23年度企業会計予算一覧

企業会計名		予算額	
		本年度	前年度
真田有線放送 電話事業	収益的支出	5,653万円	5,710万円
	資本的支出	915万円	915万円
産院事業	収益的支出	4億3,011万円	3億6,712万円
	資本的支出	9億4,648万円	6,646万円
水道事業	収益的支出	25億6,166万円	26億3,114万円
	資本的支出	11億7,770万円	12億9,089万円
公共下水道事業	収益的支出	48億7,060万円	49億8,444万円
	資本的支出	39億3,101万円	48億6,725万円
農業集落排水事業	収益的支出	13億4,364万円	14億153万円
	資本的支出	7億2,326万円	7億9,044万円
企業会計合計		160億5,015万円	164億6,551万円

※収益的支出 職員の人件費、施設の維持管理費、減価償却費など経営活動に必要な経費

※資本的支出 施設の整備・投資にかかる費用や借入金の償還金などの費用

平成23年度、各地域でご活躍いただいている 自治会長の皆さんを紹介します

(平成23年4月1日現在・敬称略)

地区連会長…◎ 地区連副会長…○

上田地域

東部	踏 入 佐藤 浩	城下	朝日ヶ丘 黒岩 昭男
	泉 町◎前田 良久	城下	三好町 荻原 健一
	上常田○湯本 恵三	城下	御 所○田玉 利貞
	中常田 土屋 成正	城下	中之条○山岸 弘明
	下常田 箱山 武	城下	千曲町 柳澤 政次
	北常田 増田 平八	城下	秋 和◎成田 守夫
	材木町 三輪 司	城下	上塩尻○窪田 雅文
	常 入 黒岩 裕雄	城下	下塩尻○塩野崎利英
	南天神町 竹田 富夫	城下	上塩尻 井出祐三郎
	泉 平 清水 正一	城下	川辺町 山浦賢一郎
南部	天神の杜 丸山 忠雄	城下	倉 升 美斉津幸経
	北天神町 田中 直樹	城下	神 畑○松井 和夫
	松尾町○若林 実	城下	下之条 木村 義弘
	鷹匠町 半田 正	城下	築 地○田中 信治
	本 町 高桑 光明	城下	東築地 黒岩 和夫
	末広町 増田 幸一	城下	半 過 石井 勇一
	大手町◎中村 彰	城下	福 田◎水沢 修
	横 町 山上 裕	城下	吉 田 木下 敬三
	海野町 齊藤 諄一	城下	大 屋○中村 元
	原 町◎塩入 肇	城下	岩 下 長谷川和幹
中央	袋 町 馬場小夜子	城下	下青木 宮嶋 功
	馬場町 菊池 徹	城下	みずが南 谷口 静夫
	田 町 小笠原友訓	城下	みずが北 堀内 洋三
	丸堀町 戸澤 隆	城下	上青木 高寺 一則
	木 町○浅井 英登	城下	梅が丘 伊藤椒太郎
	北大手町 小野 芳文	城下	久保林 小林 光一
	上川原町 掛川 許夫	城下	黒 坪 丸山 英樹
	下川原町○宮崎 直人	城下	上 沢 小野 博
	愛宕町 香山 昇久	城下	国 分◎新保 一藤
	上鍛冶町 小宮山武雄	城下	下 堀 平尾 健二
北部	鍛冶町 小宮山高雄	城下	上 堀 石原 重信
	上房山 松野 平	城下	畑 山 清水 年秀
	下房山 佐藤 健一	城下	伊勢山 平林 佐敏
	柳 町 岡崎 光雄	城下	富士見台 齊藤 隆文
	新 田◎宮本 智夫	城下	神科新屋○武井 祐一
	山 口 山崎 弘道	城下	野 竹 高木 俊博
	上紺屋町 甲田 久男	城下	西野竹○元木 好隆
	下紺屋町 腰原 一文	城下	笹 井 宮坂 善一
	鎌 原 宮澤 喜雄	城下	川 原 小宮山明男
	西 脇 加藤 茂	城下	岩 門 茅野 好弘
西部	新 町 滝澤 牧都	城下	染 屋◎伊藤 暢章
	諏訪部○成澤 秀敏	城下	蛇 沢 小林 繁雄
	生 塚 田村 信行	城下	金 井 堀内 保範
	常磐町 佐古 圭介	城下	大久保 金井 務
	緑が丘 雲井 陽一	城下	長 島 佐藤光二郎
	新 屋 櫻井 克巳	城下	金剛寺 小林 良次
	緑が丘北 佐藤 和夫	城下	住吉が丘○堀田 征宏
	緑が丘西○高橋 守	城下	森 竹内 健二
	城 北 小宮山アサジ	城下	大日木○柄澤 修
	小 牧 桜井 忠司	城下	長 入 中澤 民男
城下	諏訪形◎宮下 省二	城下	宮之上 成澤 康博
	須 川 手塚 義夫	城下	小井田 久保田孝雄
	中 村 中本 信忠	城下	中吉田 若林 源

東部	町吉田◎成澤 晴夫	豊殿	町吉田◎成澤 晴夫
	ひかり 山下 祥男	豊殿	ひかり 山下 祥男
	桜 台○羽鳥 勝義	豊殿	桜 台○羽鳥 勝義
	下吉田 堺澤 仁一	豊殿	下吉田 堺澤 仁一
	林之郷 小林 義政	豊殿	林之郷 小林 義政
	下 郷 神林 廣幸	豊殿	下 郷 神林 廣幸
	岩清水○秋山今朝一	豊殿	岩清水○秋山今朝一
	矢 沢 田中 保行	豊殿	矢 沢 田中 保行
	赤 坂 宮下 豊彦	豊殿	赤 坂 宮下 豊彦
	漆 戸 武舎 芳博	豊殿	漆 戸 武舎 芳博
東塩田	下 組○松崎 照二	東塩田	下 組○松崎 照二
	富士山組 峯村 英夫	東塩田	富士山組 峯村 英夫
	奈良尾○林 寛	東塩田	奈良尾○林 寛
	平井寺 岡森 則夫	東塩田	平井寺 岡森 則夫
	鈴 子 塩入 秀成	東塩田	鈴 子 塩入 秀成
	石 神 関 新一	東塩田	石 神 関 新一
	柳 沢 坂田 秀人	東塩田	柳 沢 坂田 秀人
	下之郷 小山 正憲	東塩田	下之郷 小山 正憲
	桜 松田 信雄	東塩田	桜 松田 信雄
	下本郷 手塚 勝人	東塩田	下本郷 手塚 勝人
中塩田	東五加 白井 昭夫	中塩田	東五加 白井 昭夫
	五 加◎宮澤 慶夫	中塩田	五 加◎宮澤 慶夫
	上本郷 藤橋 恒夫	中塩田	上本郷 藤橋 恒夫
	中 野○坂中 悦夫	中塩田	中 野○坂中 悦夫
	上小島 和田 健	中塩田	上小島 和田 健
	下小島 中沢 洋藏	中塩田	下小島 中沢 洋藏
	保 野 原 紀道	中塩田	保 野 原 紀道
	下郷 沢 純一	中塩田	下郷 沢 純一
	上郷 沢 純一	中塩田	上郷 沢 純一
	下郷 沢 純一	中塩田	下郷 沢 純一
別所温泉	分 去○小林 亮一	別所温泉	分 去○小林 亮一
	大 湯 小林 経一	別所温泉	大 湯 小林 経一
	院 内○市川 孝芳	別所温泉	院 内○市川 孝芳
	上 手 滝沢 道浩	別所温泉	上 手 滝沢 道浩
	仁古田○横山 勇徳	別所温泉	仁古田○横山 勇徳
	岡 岡田 勉	別所温泉	岡 岡田 勉
	浦 野 小山 誉祐	別所温泉	浦 野 小山 誉祐
	越 戸 井澤 武	別所温泉	越 戸 井澤 武
	藤之木 腰原 弘二	別所温泉	藤之木 腰原 弘二
	野野雨地 今 佐津雄	別所温泉	野野雨地 今 佐津雄
川西	小 泉 黒岩 道秀	川西	小 泉 黒岩 道秀
	下室賀 土屋 悦夫	川西	下室賀 土屋 悦夫
	上室賀 白鳥 洋右	川西	上室賀 白鳥 洋右
	ひばりヶ丘○石井 智雄	川西	ひばりヶ丘○石井 智雄
	上室賀 白鳥 洋右	川西	上室賀 白鳥 洋右
	下室賀 土屋 悦夫	川西	下室賀 土屋 悦夫
	小 泉 黒岩 道秀	川西	小 泉 黒岩 道秀
	越 戸 井澤 武	川西	越 戸 井澤 武
	浦 野 小山 誉祐	川西	浦 野 小山 誉祐
	岡 岡田 勉	川西	岡 岡田 勉

東部	学海南 安藤善四郎	中塩田	学海南 安藤善四郎
	舞 田 金井 芳明	中塩田	舞 田 金井 芳明
	八木沢 今村 一男	中塩田	八木沢 今村 一男
	八 舞 北沢明治朗	中塩田	八 舞 北沢明治朗
	学海北 小野寺 晃	中塩田	学海北 小野寺 晃
	セーハル 草野 彰夫	中塩田	セーハル 草野 彰夫
	十 人 小林 廣幸	中塩田	十 人 小林 廣幸
	塩田新町 岡田 宝正	中塩田	塩田新町 岡田 宝正
	東前山 竹内 晃	中塩田	東前山 竹内 晃
	西前山○片桐眞次郎	中塩田	西前山○片桐眞次郎
西塩田	手 塚○西澤 恒幸	西塩田	手 塚○西澤 恒幸
	山 田 東川 俊雄	西塩田	山 田 東川 俊雄
	野 倉 吉池 政治	西塩田	野 倉 吉池 政治
	分 去○小林 亮一	西塩田	分 去○小林 亮一
	大 湯 小林 経一	西塩田	大 湯 小林 経一
	院 内○市川 孝芳	西塩田	院 内○市川 孝芳
	上 手 滝沢 道浩	西塩田	上 手 滝沢 道浩
	仁古田○横山 勇徳	西塩田	仁古田○横山 勇徳
	岡 岡田 勉	西塩田	岡 岡田 勉
	浦 野 小山 誉祐	西塩田	浦 野 小山 誉祐
別所温泉	越 戸 井澤 武	別所温泉	越 戸 井澤 武
	藤之木 腰原 弘二	別所温泉	藤之木 腰原 弘二
	野野雨地 今 佐津雄	別所温泉	野野雨地 今 佐津雄
	小 泉 黒岩 道秀	別所温泉	小 泉 黒岩 道秀
	下室賀 土屋 悦夫	別所温泉	下室賀 土屋 悦夫
	上室賀 白鳥 洋右	別所温泉	上室賀 白鳥 洋右
	ひばりヶ丘○石井 智雄	別所温泉	ひばりヶ丘○石井 智雄
	上室賀 白鳥 洋右	別所温泉	上室賀 白鳥 洋右
	下室賀 土屋 悦夫	別所温泉	下室賀 土屋 悦夫
	小 泉 黒岩 道秀	別所温泉	小 泉 黒岩 道秀
川西	越 戸 井澤 武	川西	越 戸 井澤 武
	浦 野 小山 誉祐	川西	浦 野 小山 誉祐
	岡 岡田 勉	川西	岡 岡田 勉
	上室賀 白鳥 洋右	川西	上室賀 白鳥 洋右
	下室賀 土屋 悦夫	川西	下室賀 土屋 悦夫
	小 泉 黒岩 道秀	川西	小 泉 黒岩 道秀
	越 戸 井澤 武	川西	越 戸 井澤 武
	浦 野 小山 誉祐	川西	浦 野 小山 誉祐
	岡 岡田 勉	川西	岡 岡田 勉
	上室賀 白鳥 洋右	川西	上室賀 白鳥 洋右

丸子地域

内村	西 内 永井 敏広	丸子地域	西 内 永井 敏広
	平 井 小平 明	丸子地域	平 井 小平 明
	荻 窪 小林 重義	丸子地域	荻 窪 小林 重義
	和 子◎原 泰孝	丸子地域	和 子◎原 泰孝
	下和子 中村 利夫	丸子地域	下和子 中村 利夫
	辰ノ口○荻原 定男	丸子地域	辰ノ口○荻原 定男
	三反田○下村 晴一	丸子地域	三反田○下村 晴一
	海 戸○倉島 陽一	丸子地域	海 戸○倉島 陽一
	沢 田◎武井 純雄	丸子地域	沢 田◎武井 純雄
	八日町 笹井 文雄	丸子地域	八日町 笹井 文雄
丸子第1	腰 越◎浅倉 寛義	丸子第1	腰 越◎浅倉 寛義
	中丸子 佐藤 誠一	丸子第1	中丸子 佐藤 誠一
	下丸子○中村 瑞穂	丸子第1	下丸子○中村 瑞穂
	御嶽堂 飯嶋 繁夫	丸子第1	御嶽堂 飯嶋 繁夫
	飯 沼 中村 明志	丸子第1	飯 沼 中村 明志
	茂 沢◎山越 健二	丸子第1	茂 沢◎山越 健二
	尾野山○上野 昌夫	丸子第1	尾野山○上野 昌夫
	上長瀬○池内 仁一	丸子第1	上長瀬○池内 仁一
	町 組 森井 弘司	丸子第1	町 組 森井 弘司
	下長瀬○久保田和英	丸子第1	下長瀬○久保田和英
丸子第2	石 井◎齊藤 實	丸子第2	石 井◎齊藤 實
	坂 井 白井 正男	丸子第2	坂 井 白井 正男
	狐 塚 堀内 長次	丸子第2	狐 塚 堀内 長次
	郷仕川原 関 芳夫	丸子第2	郷仕川原 関 芳夫
	南 方 北澤袈裟春	丸子第2	南 方 北澤袈裟春
	藤原田○堀内 邦男	丸子第2	藤原田○堀内 邦男
	上長瀬○池内 仁一	丸子第2	上長瀬○池内 仁一
	町 組 森井 弘司	丸子第2	町 組 森井 弘司
	下長瀬○久保田和英	丸子第2	下長瀬○久保田和英
	石 井◎齊藤 實	丸子第2	石 井◎齊藤 實
依田	御嶽堂 飯嶋 繁夫	依田	御嶽堂 飯嶋 繁夫
	飯 沼 中村 明志	依田	飯 沼 中村 明志
	茂 沢◎山越 健二	依田	茂 沢◎山越 健二
	尾野山○上野 昌夫	依田	尾野山○上野 昌夫
	上長瀬○池内 仁一	依田	上長瀬○池内 仁一
	町 組 森井 弘司	依田	町 組 森井 弘司
	下長瀬○久保田和英	依田	下長瀬○久保田和英
	石 井◎齊藤 實	依田	石 井◎齊藤 實
	坂 井 白井 正男	依田	坂 井 白井 正男
	狐 塚 堀内 長次	依田	狐 塚 堀内 長次
長瀬	郷仕川原 関 芳夫	長瀬	郷仕川原 関 芳夫
	南 方 北澤袈裟春	長瀬	南 方 北澤袈裟春
	藤原田○堀内 邦男	長瀬	藤原田○堀内 邦男
	上長瀬○池内 仁一	長瀬	上長瀬○池内 仁一
	町 組 森井 弘司	長瀬	町 組 森井 弘司
	下長瀬○久保田和英	長瀬	下長瀬○久保田和英
	石 井◎齊藤 實	長瀬	石 井◎齊藤 實
	坂 井 白井 正男	長瀬	坂 井 白井 正男
	狐 塚 堀内 長次	長瀬	狐 塚 堀内 長次
	郷仕川原 関 芳夫	長瀬	郷仕川原 関 芳夫
塩川	南 方 北澤袈裟春	塩川	南 方 北澤袈裟春
	藤原田○堀内 邦男	塩川	藤原田○堀内 邦男
	上長瀬○池内 仁一	塩川	上長瀬○池内 仁一
	町 組 森井 弘司	塩川	町 組 森井 弘司
	下長瀬○久保田和英	塩川	下長瀬○久保田和英
	石 井◎齊藤 實	塩川	石 井◎齊藤 實
	坂 井 白井 正男	塩川	坂 井 白井 正男
	狐 塚 堀内 長次	塩川	狐 塚 堀内 長次
	郷仕川原 関 芳夫	塩川	郷仕川原 関 芳夫
	南 方 北澤袈裟春	塩川	南 方 北澤袈裟春

問 丸地域振興課
TEL42・3100
(内線323)

問 市民参加・協働推進課
TEL22・4100(内線1703)

真田地域

東部	菅 平 金井 定男	真田地域	菅 平 金井 定男
	大日向 大久保富男	真田地域	大日向 大久保富男
	角 間 倉島 秀紀	真田地域	角 間 倉島 秀紀
	横 沢 今川 幸文	真田地域	横 沢 今川 幸文
	真 田 松原 進	真田地域	真 田 松原 進
	十林寺 坂口 茂男	真田地域	十林寺 坂口 茂男
	石 舟 塩沢 猛	真田地域	石 舟 塩沢 猛
	戸 沢○柳澤 俊秀	真田地域	戸 沢○柳澤 俊秀
	つくし 小林 憲明	真田地域	つくし 小林 憲明
	横 尾◎池田 恵一	真田地域	横 尾◎池田 恵一
傍陽	四日市 大久保正信	傍陽	四日市 大久保正信
	入軽井沢 小林 嘉明	傍陽	入軽井沢 小林 嘉明
	岡 保○三井 孝幸	傍陽	岡 保○三井 孝幸
	傍陽中組 柳澤 邦男	傍陽	傍陽中組 柳澤 邦男
	大 庭 花岡 秀樹	傍陽	大 庭 花岡 秀樹
	曲 尾◎田中 豊年	傍陽	曲 尾◎田中 豊年
	萩 半田 幸一	傍陽	萩 半田 幸一
	田 中 坂口 英雄	傍陽	田 中 坂口 英雄
	下横道 柳澤 和夫	傍陽	下横道 柳澤 和夫
	中横道 堀内 一夫	傍陽	中横道 堀内 一夫
傍陽	上横道 堀内 一巳	傍陽	上横道 堀内 一巳
	菅 平 金井 定男	傍陽	菅 平 金井 定男
	大日向 大久保富男	傍陽	大日向 大久保富男
	角 間 倉島 秀紀	傍陽	角 間 倉島 秀紀
	横 沢 今川 幸文	傍陽	横 沢 今川 幸文
	真 田 松原 進	傍陽	真 田 松原 進
	十林寺 坂口 茂男	傍陽	十林寺 坂口 茂男
	石 舟 塩沢 猛	傍陽	石 舟 塩沢 猛
	戸 沢○柳澤 俊秀	傍陽	戸 沢○柳澤 俊秀
	つくし 小林 憲明	傍陽	つくし 小林 憲明

傍陽	六 沢 荻原美知男	傍陽	六 沢 荻原美知男
	三島平 半田 三好	傍陽	三島平 半田 三好
	上 原 渡辺 純一	傍陽	上

平成23年度組織改正

問 市行政管理課 TEL22・4100(内線1003)

主な課の改正点

【市民参加・協働推進課】(名称変更)

「まちづくり協働課」の名称を「市民参加・協働推進課」に改めます。

自治基本条例に基本理念として掲げる、市民参加と協働による自治の推進と、地域内分権による地域自治の推進を図ります。

【丸子学校教育課、真田・武石地域教育事務所学校教育係】(本庁に統合)

地域性を尊重しながらも一貫した方針のもと施策に取り組めるよう、丸子学校教育課と真田・武石地域教育事務所学校教育係を本庁の教育総務課と学校教育課に統合します。

なお、丸子学校教育課、真田・武石地域教育事務所学校教育係で行っていた転入学事務、高校通学費補助の学校関係の申請受付などは、引き続き各地域教育事務所、または各地域自治センター市民生活課で行います。

その他の改正点

【塩田地区有線放送所】(廃止)

塩田地区有線放送電話事業の廃止に伴い、有線放送所を廃止します。

設備撤去等の事務は塩田地域自治センターで行います。

【乳児院】(廃止)

民営化に伴い、上田市乳児院は廃止します。なお、新たに社会福祉法人敬老園により「うえだみなみ乳児院」(常田1丁目)が開設されます。

事務所が移転します

【雇用促進室 TEL24・7363】

市役所本庁舎から上田市勤労者福祉センター(中央4丁目)へ移転します。

【川西公民館 TEL22・5004】

公民館が建て替え工事のため、旧小泉保育園に平成24年3月末(予定)まで一時移転します。移転先での業務開始は、5月2日(月)を予定しています。

※一時移転中は施設の貸し出しは行いませんのでご了承ください。なお、公民館と併設されていた川西社会福祉センターは3月31日をもって廃止しました。

【真田産業観光課観光商工係 TEL72・2204】

真田地域自治センターから真田農業活性化施設ゆきむら夢工房(真田町長)へ移転します。



市役所が変わります

未来にとどけ みんなの笑顔

第40回記念として、10年前に封印したタイムカプセルを開封します。
また、第50回に向けたタイムカプセルを作ります。

日時 5月5日(木・祝)午前9時20分～午後3時

場所 上田城跡公園、陸上競技場、剣道場ほか

内容 タイムカプセルの開封・展示、10年後へのタイムカプセル作り、西丘保育園鼓笛隊、将棋教室、消防1日体験、電気屋さん体験、ガールスカウトふれあいの日、昔のパズル・忍者の暗号遊び、水鉄砲作り&対戦、グラウンドゴルフ、ポニーと遊ぼう、剣道体験教室、しゃぼん玉体験など。

問 実行委員会事務局(斎藤) TEL090・4464・1392

市生涯学習課 TEL23・6370



第40回うえだこどもまつり



待望のドッグランや、場外離着陸場を整備

市が整備を進めてきた「上田 道と川の駅」の公園施設が、4月から利用できるようになりました。

公園施設は、芝生広場、ウォーキングコース、ドッグラン、防災・ドクターヘリ用の場外離着陸場を備えています。芝生広場は養生中のため梅雨明けぐらいまで使用できませんが、ウォーキングコース、ドッグランは利用できます。また、昨年より営業を開始した交流センターの貸し館業務も引き続き行っています。

公園施設利用開始 4月1日(金)

利用時間 交流センター／午前9時～午後5時
(月曜日休館。休日の場合は翌日休館)
公園施設は年間を通して利用できますが、ドッグランのみ夜間の使用はできません。

料 金 公園施設は無料。交流センターの使用料金については電話でお問い合わせください。

問 上田 道と川の駅交流センター TEL21・1221

市 地域交通政策課 TEL23・5011



「上田 道と川の駅」の公園施設が4月1日オープン

泉田保育園(新)が4月に開園

昭和30年代に建築され、地域の皆さんから長年愛されてきた泉田保育園(吉田)と小泉保育とを統合した、新しい泉田保育園が4月1日(金)に、小泉地籍の第一学校給食センター南側に開園しました。

新園舎は、太陽光発電設備や一部床暖房等の最新設備を備え、園庭には敷地の傾斜を生かした築山を造るなど、子どもたちが健やかに育つように配慮しています。また、乳児保育や一時預かりなどの保育サービスを充実させるとともに、おおむね3歳未満のお子さんと保護者の集いの場としての「泉田子育て支援センター」を併設し、地域の保育と子育ての拠点施設として期待されています。



泉田保育園(新)概要

- ・所在地／小泉1番地8
 - ・鉄骨造平屋建て／床面積1,063㎡
(うち子育て支援センター126㎡)
 - ・定員90人
- ※子育て支援センターは4月5日(火)
午前9時からご利用いただけます。

問 **市** 保育課 TEL23・5132

市 子育て・子育て支援課
TEL23・5106

お知らせ

Information A La Carte

就学援助制度をご存じですか

市では、経済的な理由で小中学校への就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学校教育活動に必要な費用の一部を援助する事業を実施しています。就学援助を希望する方は、4月に学校から配布するお知らせをご覧ください、学校へお申し出ください。

なお、認定にあたり、申請世帯の所得などを調査させていただきます。また、民生児童委員による聞き取りを行う場合もあります。ご了承ください。

問 学校教育課 TEL 23・5101

子宮頸がんワクチン接種に公費負担

市では、4月から中学1年生、高校1年生相当年齢の女子に、子宮頸がんのワクチン接種(3回)の公費負担を予定していましたが、現在ワクチンの供給量が全国的に不足しているため、1回目の接種が実施できない状況です。対象者には、供給が円滑に行われるとされる、7月頃に個別に通知する予定ですが、既に1・2回目を接種した方で、7月までに2・3回目を予定している方は健康推進課までご連絡ください。

お知らせ

また、平成23年度は高校2年生相当年齢の方も公費負担対象として、接種が可能です。

問 健康推進課 TEL 28・7124

4月18日から循環バス運行ルートを一部変更

4月18日(月)から、上田市街地循環バス(青バス・赤バス)の運行ルートを一部変更し、あわせて時刻表を改正します。新しい路線図および時刻表は上田市ホームページをご覧ください。なお、上田地域の皆さんには全戸配布します。

また、オレンジバスは、西塩田、東塩田、浦里・室賀コースでアリオ上田前バス停を追加します。詳しくは、お問い合わせください。

問 地域交通政策課

TEL 23・5011

訪問理美容サービスのための出張料を助成

外出することが難しい在宅の高齢者の方に、理美容師が訪問する際の出張料金を助成します。なお、理美容料金(カット代など)は利用者の負担となります。

●対象 ①②両方に該当する方。

①おおよね65歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯。②要介護3・4・5の認定を受けている方。

●利用回数 年間6回まで(申請月によって異なります)

●申請方法 高齢者介護課、または各地域自治センター健康福祉課へ。申請時には印鑑が必要です。決定した方には利用券を発行します。

問 高齢者介護課 TEL 23・5131

所得証明書・納税証明書発行業務を4月9日休止

4月9日(土)、上田情報ライブラリー窓口での所得証明書と納税証明書、および軽自動車税納税証明書の証明書発行のみ、システム点検のため休止します。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

問 税務課

TEL 23・5115

問 収納管理課

TEL 23・5117

問 情報推進課

TEL 23・8241

公の施設を管理する指定管理者を決定

4月から公の施設の管理を行う指定管理者が、市議会3月定例会で可決され、決定しました。

◇上田市真田農林産物展示販売施設
指定管理者 信州うえだ農業協同組合

●担当課 真田産業観光課
◇上田市真田温泉健康ランドふれあいさなだ館

●指定管理者 (財)上田市真田の郷振興公社

●担当課 真田地域教育事務所

◇共通事項
●指定管理期間 4月1日～平成26年3月31日

●募集方法 いずれも非公募
問 行政改革推進室

TEL 23・5163

今月の表紙



武石小学校6年生を送る会

卒業式が間近に迫った3月11日、武石小学校では6年生を送る会が開催されました。

送る会では、学年ごと送る言葉などを伝え、1年生からは「ちょっと生意気ですが…」と、ことわざが贈られました。「笑う門には福来る。一緒に笑ってみましょう」と言われた6年生は、恥ずかしそうに笑っていました。すると、1年生から「そんな笑い方では幸せになれませんよ」と言われ大笑い。

5年生が中心になって作った、アーチをくぐり抜けて退場した6年生。小学校の思い出を胸に、新たな出発の時を迎えました。

お知らせ

信州せいしゅん村が 農林水産省と オーライ！ニッポンの フレンドシップ大賞を受賞！

農業生産法人(株)信州せいしゅん村(武石)は、農村と都市の交流事業を展開。日帰りの農村生活体験事業「ほっとステイ」では、都会の小中学生や海外からも農業体験者を受け入れ、平成10年からの来訪者数は延べ5万人を超えました。また、荒廃農地を再利用して育てたそばで、焼酎などの商品開発を行うほか、移住希望者のために、地域との付き合い方などを詳しく手ほどきする、ふるさと回帰予備校を開講しました。

この度、これらの活動が認められ、農林水産省と都市と農山村の共生・対流を推進する「オーライ！ニッポン会議」主催の第8回オーライ！ニッポン大賞で、最優秀賞に次ぐ賞の一つ「オーライ！フレンドシップ大賞」を受賞しました。

村長の小林一郎さんは「受賞は光栄です。イベントなどを企画すると運営者側が疲れてしまう。そのためにも日常生活の延長で農村と都市の両方が元気になる活動を今後も展開していきたい」と話していました。



3月9日の表彰式で

上田城と真田一族郷巡り そば打ち体験コース

真田氏ゆかりの地を、ガイド付き専用バスで巡ります。昼食にはそば打ち体験。宿泊は別所温泉です。日帰り(昼食のみ)での申し込みも可。2日目は自由行動です。

●日時 4月15日(金)午前9時30分～

(日帰りの解散時間／午後3時30分頃)翌16日(土)

●場所 上田駅お城口集合。上田城跡公園、真田氏歴史館、砥石城など。

●定員 20名程度(最小催行人員10名)

●参加費 7500円(別途宿泊料／1万2750円～1万1700円)

●持ち物 雨具、飲み物など。歩き

やすい服装。

●申し込み 4月10日(日)までに電話、またはFAX(38・8966)で。

ゲートウェイ信州上田城下町

(池田)

TEL 090・1403・4029

丸子金子図書館 おはなし会

雨宮ちよ子さん、にじいろ文庫の皆さんによる、絵本の読み聞かせ、手遊び、パネルシアターなどお楽しみください。

●日時 4月16日(土)午前10時30分～

●場所 丸子金子図書館2階

問 丸子金子図書館
TEL 42・2414

三味線と踊りの集い

「藤本頼貴次」と「竹本舞鶴会」のステージをお楽しみください。

●日時 4月20日(水)午後0時30分～

●場所 ふれあいさなだ館大広間ステージ(入館料必要)

ふれあいさなだ館

TEL 72・2500

講座・教室

CD図書校正 ボランティア養成講座

CD(デージー)図書の校正を手伝えるボランティアを募集し、それに先立ち無料講習会を行います。

●期日／内容 4月21日(木)／CD

<広告欄>



あおやぎ眼科

眼科各種手術 ●入院設備あります ●駐車場30台
(白内障・緑内障・網膜剥離術・硝子体切除術・眼瞼内反症・眼瞼下垂症 等)

〒386-0002 上田市住吉577
(マツヤ上田インター店前)

TEL.0268(28)6688

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～12:00	×	○	○	○	○	○
午後2:30～5:00	○	手術	○	手術	手術	×

休診日 日曜・祝日・月曜午前・土曜午後
火曜午後(手術)・木曜午後(手術)
金曜午後(手術)

図書のパソコン編集(図書の規格への理解や、パソコンの操作を習得)。4月28日(木)／CD図書校正の作業方法を習得。

●時間 午後1時～3時30分

●場所 点字図書館

●対象 ウィンドウズパソコンを日常的に使用し、ウィンドウズXP以降のパソコンを持っている方。

●定員 10名

●申し込み 4月15日(金)までに電話で点字図書館へ。

問 点字図書館 TEL 22・1975

ウエイトコントロール教室(ママシェイプ編)

産後のお母さんのためのシェイプアップと健康づくり教室です。

●期日 5月9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)、6月9日(木)・13日(月)・20日(月)・27日(月)、7月4日(月)(全9回)

●場所 ひとまちげんき・健康プラザうえだ2階多目的ホール

●内容 筋力トレーニングや有酸素運動、ストレッチなど、管理栄養士による食育講座。

●対象 市内在住の産後2～7か月のBMI(※)23以上の方。

(※)BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)(託児なし。赤ちゃんとの参加は可)。

●定員 15名(応募多数の場合抽選)

●参加費 無料

●持ち物 運動靴2種(上履きと下履き)、ベビーカー、タオル、飲み物、運動できる服装、帽子。

●申し込み 4月15日(金)までに電話で健康推進課へ。

問 市健康推進課 TEL 28・7123

塩田の郷マレットゴルフ場初心者講習会

上田市マレットゴルフ協会会員の個別指導による講習会です。

●日程 4月23日(土)午前8時30分受付開始。午前中は講習、午後は自由プレー。

●場所 塩田の郷マレットゴルフ場

●定員 先着50名

●受講料 1500円(入場料、テキスト代、軽食代含む。当日徴収)

●申し込み 4月1日(金)～20日(水)に、電話、FAX、または直接窓口へ。

問 塩田の郷マレットゴルフ場
TEL/FAX 39・4455

ペアレント・トレーニングを開催

「広汎性発達障害と診断されたが、どうしたらよいかわからない」「親を困らせる行動に振り回されてしまう」という保護者のために、子どもへの障がいや行動の理解、かわり方、対処方法を学ぶ連続講座を開催します。同じ立場の保護者グループの中

で、子育てについて考えましょう。

●期日 4月21日・28日、5月12日・26日、6月9日・23日、7月7日・21日、8月25日、9月1日の木曜日(全10回)

●時間 午前10時～正午

●場所 ひとまちげんき・健康プラザうえだ

●対象 発達障害と診断されたおおむね小学1～3年生の保護者。全日程参加が原則。

●定員 8名(託児なし)

●受講料 無料

●申し込み 4月15日(金)までに電話で発達相談センターへ。

問 発達相談センター
TEL 24・7801

洋らん植え替え講習会を開催します

●日時 4月24日(日)午後1時30分～

●場所 長瀬市民センター

●内容 シンビジウム、デンドロビウム、カトレアなどの植え替え講習、育て方を指導。

●参加費 無料

●持ち物 植え替えたい株、植木鉢、植え込み材料(多少用意あり・実費)、ハサミ、割り箸。

問 丸子洋らん友の会(久田)
TEL 43・3571

<広告欄>

小柳産業(株)

上田工場は土日・祝日
休まず営業! 持込歓迎

上田市材木町: 22-5353
上田市東内: 43-0053

引越シーズンです。
粗大ごみの処分など
すぐ相談
ことなら
ごみの

上田市スポーツ教室 受講者を募集

◆少林拳法護身術(前期)

●日時 5月16日から毎週月曜日、午後7時～(全10回)

●場所 上田城跡公園体育館剣道場

●定員 先着20名

●受講料 2000円

◆やさしい筋力アップ貯筋運動(前期)

●日時 5月20日から毎週金曜日、午前10時～(全10回)

●場所 上田城跡公園体育館剣道場

●定員 先着40名

●受講料 3000円

◆女性ソフトテニス

●日時 5月10日から毎週火曜日、午前9時30分～(全10回)

●場所 上田城跡公園東テニスコート

●定員 先着20名

●受講料 3000円

◆バドミントン(前期)

●日時 5月17日から毎週火曜日、午後6時30分～(全10回)

●場所 上田城跡公園体育館

●定員 先着40名

●受講料 3000円

◆弓道

●日時 5月17日から毎週火曜日、午前9時30分～、もしくは午後7時～(全10回)

●場所 上田城跡公園弓道場

●定員 先着30名

●受講料 3000円

◆初心者卓球

●日時 5月21日から毎週土曜日、午前9時30分～(全10回)

●場所 上田城跡公園第二体育館

●定員 先着20名

●受講料 3000円

◆ラージボール卓球(前期)

●日時 5月20日から毎週金曜日、午後7時30分～(全10回)

●場所 上田城跡公園第二体育館

●定員 先着20名

●受講料 3000円

◆共通事項

●対象 市内在住、在勤の成人男女(学生除く)

●申し込み 4月11日(月)～5月6日(金)に、窓口にある所定の申込用紙で、体育課、または上田城跡公園体育館、自然運動公園体育館、丸子総合体育館、真田・武石地域教育事務所へ(参加費は初日に徴収)。

問 市体育課 TEL23・6372

ベビーサイン講座

手話やジェスチャーを使って、赤ちゃんとのコミュニケーションをとる方法を学びます。

●期日 4月11日と5月16日、4月25日と5月23日の月曜日(2回1セット)

●時間 いずれも午前10時30分～11時

時30分

●場所 中央公民館

●対象 生後6か月～1歳6か月の赤ちゃんとその保護者

●定員 15組

●受講料 2000円

●申し込み 電話で中央公民館へ。中央公民館 TEL22・0760

やさしい ヨガ&ストレッチ

●日時 4月27日(水)午前10時30分～11時30分

●場所 ふれあいさなだ館大広間

●指導 倉崎直子氏(インストラクター)

●参加費 無料(要別途入館料)

●持ち物 大きめのバスタオル、またはヨガマット

●申し込み 4月20日(水)までに、同館フロントへ。

問 ふれあいさなだ館
TEL72・2500

合気道教室の受講者を 募集します

●日時 4月16日～8月30日の火・土曜日、午後6時30分～8時30分(全27回)

●場所 上田城跡公園体育館柔道場

●対象 市内在住・在勤、小学生以上の一般男女

●定員 10名程度

<広告欄>

お墓に関すること、何でもご相談下さい。

家族の絆を大切にします

きずな 株式会社 絆コーポレーション

おやこのきずな

0120-085-927

上田市秋和473-1(明和ビル)TEL 71-0911 FAX 71-0990

春の大感謝祭!!

オリジナル墓石セット特別大奉仕価格

墓石代 墓石工事代 彫刻料 基礎工事代 消費税

84万円より 全て含んだ特別価格!

大感謝祭2大特典

① 工事代金50,000円サービス! ② ペア旅行券プレゼント!

5月末日までに成約の方

※お気軽にお問い合わせ下さい。ご希望の日時で、現地ご案内致します!

◎当社推薦の優良墓苑

- 向陽院自由墓苑 上田市塩川
- 大圓寺自由墓苑 上田市富士山
- 小牧山霊園 上田市諏訪形(管理者:順行寺)

いずれも宗教自由霊苑。いつでもお気軽にご参拝いただけます。

案内図

いろいろな体験を通して 心豊かに育つ子どもたち

三好町保育園

三好町保育園は定員195人で、第四中学校前の県道77号線沿いに本館が、八十二銀行三好町支店前に0・1歳児のいる乳児園があります。昭和56年に開園し、30年目を迎える今年、新園舎が完成。新園舎は明るく開放感のある木材を豊富に使った暖かみのある建物に生まれ変わりました。

保育園の近くにある神社や公園へ散歩に出かけるなど、四季折々の自然に触れる機会にも恵まれています。園の目標である「明るく元気で丈夫な子になろう」ということから、和太鼓、スポーツ教室、畑活動、伝統行事、伝承あそびなどにも力を入れています。和太鼓では、太鼓を打つ姿勢から足腰が鍛えられ、全員で音を合わせるために気持ちを一つにすることの大切さや曲ができたあがった時の充実感、園外での演奏で味わう緊張感と喜びを体験し、子どもたちはひとまわり大きく成長します。



真剣! 集中! けん玉あそび。
プロけん玉師さんの技を盗んじゃおう!

また、季節の作物を育てて収穫し、調理する活動では、作物の成長や収穫の喜びを味わい、食べ物を無駄にせず大切にすることが育っていきます。こま、けん玉、ヨーヨーなどの昔ながらの伝承あそびでは、毎年、大会を開催し、自分たちの技を競う中で最後まで諦めずに頑張り抜こうとする力が育ち、できた時の達成感、喜びを味わっています。

こうして、園児は保育園生活での様々な体験を通して、心も体も大きく成長してい

きます。これからも地域に親しまれる保育園としてたくさんの方々とつながりを大切にして、子どもたちが大人になってから保育園時代を思い出した時、「楽しかった」「保育園での体験がその後の成長の中で役立っていたのではないかな」と思ってもらえる、保育を目指していきます。

「ナスが飛び出さないようにやさしく包んでね」お母さんと一緒におやき作り。



- 問**
- 内容 護身術の習得など。
 - 参加費 3000円
 - 持ち物 運動できる服装でお越しください。
 - 申し込み 教室開催期間中は電話で随時受け付けます。
- 上田合気道協会事務局(長谷川)
TEL 38・3728

- 高年齢者パソコン教室
(初心者向け)**
- 日時 4月21日～9月22日の毎週木曜日、午後1時30分～3時30分(全20回)
 - 場所 ふれあい福祉センター
 - 対象 おおむね60歳以上の初心者
 - 定員 先着15名

- 問**
- 受講料 6000円(別途資料代)
 - 持ち物 ノートパソコン(OSはウインドウズビスタ以降)
 - 申し込み 4月11日(月)～15日(金)に電話で事務局へ。
- 上田市福寿クラブ連合会事務局
TEL 23・2387

<広告欄>

長野県民共済

共済取扱団体/長野県認可 長野県民共済生活協同組合
共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会 <http://www.kyosai-cc.or.jp/>

営利を目的としない助けあいの制度

- ① 共済金を貰った先に
何よりまずは共済金。お支払いを最優先にしています。
- ② コストは抑えて
経費を必要最小限にするため、低コストの運営に徹しています。
- ③ 剰余金は割り戻し
剰余金は割戻金としてご加入者へ公平にお戻ししています。

※掛金の口座振替については左の金融機関からいずれか一方をご指定ください。※ゆうちょ銀行の窓口ではお申し込みいただけません。

口座振替取扱金融機関 八十二銀行 ゆうちょ銀行

資料請求はとっても簡単!

長野県民共済

www.nagano-kyosai.or.jp/

検索



■受付時間/平日9時～17時

[上田] ☎ 0268-24-3985(代)

〒386-1104 上田市福田下田9-33 FAX 0268-24-3902

携帯サイトのバーコード
<http://kyo-sai.jp/nagano/>

SBCラジオ 県民共済提供[YESI]
県民共済 聞いてなるほど! 毎週
日曜日18:05～(約5分間)放送

募集

平成23年度上田市医師確保 修学資金等貸与者を募集します

将来、地域内の医療機関の医師として従事しようとする大学生、周産期医療を志す大学院生および研修医、さらには県外から新たに赴任する産科・小児科・麻酔科の医師に対して、それぞれ必要な資金を貸与します。

●制度の概要

区 分	修 学 資 金	研 修 資 金	研 究 資 金
対象者	医学部の大学生	周産期医療を志す大学院生、研修医	産科、小児科、麻酔科の医師
貸与金額	月額20万円	月額30万円	3年資金：300万円 2年資金：200万円
貸与期間	大学を卒業するまで	大学院を卒業または研修が修了するまで	3年資金：3年間 2年資金：2年間
その他	一定期間、市が指定する医療機関で従事することにより返還を免除します。		

●募集期間

・修学資金、研修資金／4月6日(水)～20日(水)

・研究資金／随時

●募集人数 各区分／若干名

詳しい制度の内容や募集要項などの資料請求は、健康推進課へ。

問 市健康推進課 TEL28・7123

女性ソフトボール教室

基本技術を学び、ソフトボールを楽しみませんか。

●日時 5月11日～7月27日／前期、8月17日～10月26日／後期、毎週水曜日の午後7時30分～9時

●場所 北小学校校庭

●対象 市内在住、在勤の方

●定員 30名

●参加費 年2000円(保険料含む)

●申し込み 電話で事務局へ。

問

上田ソフトボール協会女性部
(六川) TEL 27・1838
(小嶋) TEL 27・3110

お節句のお祝い膳

端午の節句のお祝い料理を作ります。託児付きの料理教室です。

●日時 4月21日(木)午前10時～午後1時

●場所 神川地区公民館

●定員 15名(託児あり)

●講師 菊地貴美子氏(製菓衛生師)

募集

初期救急センター 小児科の看護師を募集

●任用期間 4月以降任用の日／平成24年3月31日まで

●勤務地 上田市内科・小児科初期救急センター

●職務内容・賃金など 月～土曜日の午後6時30分～11時30分まで、電話相談、診察補助など(勤務日、時間はシフトにより異なるので、要相談)。賃金は上田市非常勤職員設置要綱により支給します。

●応募資格 小児科に勤務経験があり、乳幼児の点滴ができる方。小児の電話相談を受けられる方。

●募集人員 若干名

●申し込み 4月20日(木)までに、健康推進課に電話で連絡後、履歴書と看護師免許証の写しを持参してください。

問 市健康推進課 TEL 28・7124

●参加費 受講料1000円、材料費700円

●持ち物 エプロン、バンダナ、マスク

●申し込み 4月11日(月)午前9時以降、電話で神川地区公民館へ(午前9時～午後4時)。

●場所 神川地区公民館

●TEL 25・1682

<広告欄>

医療法人三折堂

宮 下 医 院

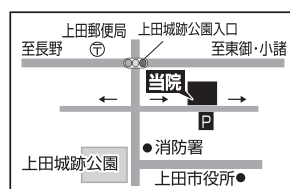
神経内科・内科・胃腸内科

〒386-0023 長野県上田市中央西1-15-12

TEL 0268(22)4328 FAX (26)8231

- 理事長/宮下美生 消化器病専門医(日本消化器学会認定)
- 院長/宮下暢夫 神経内科専門医(日本神経学会認定)

診療時間 午前 9:00～12:00
午後 3:00～6:00
休 診 日 土曜午後・日曜・祝日



神経内科

※初診の方は予約をおすすめします。

頭痛・めまい・しびれ・ふるえ・歩行障害・認知症などを来す脳神経系の病気を診断し、内科的に治療する科です。

主要設備

オープン型MRI、超音波検査装置(腹部一般、頸動脈エコー)、胃・大腸内視鏡、レントゲン、筋電図検査装置等

信州うえだ子ども十勇士隊

子どもたちの良い思い出作りに、
役立てばいいと思います。

飯島秀雄さん いいじま・ひでお

昨年(2010年)の11月から4回、上野が丘公民館で甲冑作りが行われていました。これは、「信州うえだ子ども十勇士隊」が行っているもので、新しい子ども用の甲冑を13体用意しよう、一つひとつのパーツ作りからほぼ1年かけて、会員の大人7人が作業を進めています。

この甲冑と以前、紙で作った甲冑で、千本桜まつりには観光客との記念撮影に応じたり、甲冑の試着体験のコーナーを設ける予定です。体験には1日300人ほどが訪れるといわれています。

十勇士には、神科・豊殿地区などから集まった小学生が扮し、砥石米山城まつりをはじめ、市内外のイベントに参加してきました。善光寺や松代、上越や鎌倉へ出向き、日本テレビで

行われたサマーウォーズイベントでも、甲冑姿の子ども

たちが大人気だったそうです。

小学3

年生の時

隊に入ったという波多野真くん(上の写真後列中央)は、「いろいろな所へ行かれて楽しいです。まだ、自分では(甲冑を)作れないけど、手伝っています」。

代表の飯島秀雄さん(上の写真後列左)は、「甲冑を着ることが好きな子どもたちばかりです。大河ドラマの署名活動にも参加しています。子どもたちが甲冑を着ていると大勢の人が集まってくれて、気持ちよく署名してくれます」。

甲冑作りでは、「完成品が頭の中にあつて、子どもたちが着て歩く姿を想像して作っています。鎌倉のまつりでは、わあかわい」と沿道の人たちが歓声をあげていました。それを聞いて「やった」と思いました」。



平成22年度に、わがまち魅力アップ応援事業の採択を受けた信州うえだ子ども十勇士隊。「子どもたちへの鎧(よろい)、兜(かぶと)の着用体験の思い出作り事業」が、特色あるまちづくり応援事業の全市対象枠で採択され、会員親子で様々な催しへの参加などが行われています。補助金は甲冑の材料費に主に使われています。以前は紙を使って作られていた甲冑も、現在は皮を使って作られています。重さはさほど変わらないといいますが、紙は使うたびに修理が必要で、皮にしてそうした心配がいなくなったそうです。



わがまち魅力アップ応援事業を紹介するコーナーです。

<広告欄>

ぬくもりと笑顔あふれる、本物の住まい



当社は全棟 ★長期優良住宅
★ふるさと信州・環の住まい
で造ります!

4月のイベント予定

- 3(日) 薪ストーブサークル
- 10(日) 住まいの勉強会「設計のPoint」
- 23(土)24(日) お住まい完成見学会

※詳しくはHPをご覧ください!

陽なたの家 開館日: 平日 AM10:00~PM3:00
土曜・日曜日 AM10:00~PM5:00
モデルハウス 上記時間外でもご連絡いただけましたらご案内致します。

太陽光発電 + OMソーラー
光と熱を上手に使う
ハイブリッド住宅です!

陽なたの家



美し信州建設株式会社
TEL 0268-27-6667

有料広告掲載のお問い合わせは、上田市秘書課 (TEL23・5149) へ。

松本山雅・塩沢選手が市長を訪問

燃やせ真田魂！Jへの夢を六文銭ヘッドで

今季から日本フットボールリーグ(JFL)の松本山雅FCに移籍した上田市出身のフォワード塩沢勝吾選手が3月8日、市長を表敬訪問しました。

今シーズンの開幕を目前に控え、新天地での自身の活躍や、チームのJ2昇格に向けての抱負などを語りました。

この日はFC関係者、父・^{いさみ}猛さんと、地元の石舟自治会で作る応援団の3人も同席。塩沢選手を応援する、横断幕を2月につくったことなどを報告しました。

同選手は上田高校出身で山形大卒業後、水戸ホーリーホック(J2)入り。その後、移籍した佐川印刷SC(JFL)では2009年にシーズン得点王に輝いています。

ヘディングのゴールが多い塩沢選手のために母袋市長は、背番号「19」の応援旗に「燃やせ 真田魂！Jへの夢を六文銭ヘッドで掴み取れ！」と書き込んで激励しました。塩沢選手は「自分のプレーで、地域の子どもたちがサッカーを好きになってもらいたい」と話していました。



真田

新生上田市5周年記念式 絆(きずな)深めて

上田

新生上田市5周年記念式



な。パフォーマンスを発揮できるよう、理念や整備の方向性に留意し、一方で現在の市の財政状況や、将来にわたる負担も十分見据え、今後も慎重に、かつ、スピード感を持って取り組む」と話しました。また、来賓を代表して、南波清吾議長から挨拶がありました。

3月7日、市役所で、新生上田市5周年記念式が開催されました。記念式には、市議会、自治会連合会、地域協議会などから約150人が出席。式では、初めに出席者全員で市民憲章の唱和を行い、その後、母袋市長が挨拶しました。

市長は、今後の市の重要課題として地域医療再生の取組をあげ、「長野病院(現信州上田医療センター)内に地域医療教育センターを設置し、平成25年までに指導的立場にある医師や若手の医師の派遣を受け、高度医療の提供と研修医療教育などを実践する体制の整備を目指す」。また、交流・文化施設の整備について、「将来にわたって十分な

れざる食文化を話してくれました。
講演は、演台にある、お茶・おやきをネタにホワイトボードを使って行われました。戦国武将・豊臣秀吉が、天下人になれた食生活の秘密や、世界一堅い食べ物の鰯節は免疫力を強くするなど、健康で楽しく長生きするための食生活について、わかりやすくユーモアいっぱいに講演しました。

参加者からは、「ユーモアがあって聞きやすく、大変おもしろかった」「笑いを交えた講演で愉快だった」「おもしろ、おもしろ話してくれたので時間が短く感じた」などの感想が聞かれました。



3月5日丸子文化会館で「2011シリーズ文化講演会」の第3回講演が開催されました。

今年の統一テーマは、「歴史に潜む新たな発見」。当日の講師、食文化史研究家の永山久夫さんは、「武将の食文化」を演題に、豊富な知識を駆使して、武将の知ら

2011シリーズ文化講演会 武将の食文化をユーモアたっぷりに紹介

リラックスセミナー こころと体を健康に

人は、様々なストレスが原因で、心や体の病気になってしまうことがあります。心や体がリラックスできるようにと、武石公民館を会場にリラックスセミナーが2月22日、3月1日・8日の3日間にわたり開催されました。

3月8日の講座には40人が参加し、ヨガ講師の和田真奈美さんを招き、ヨガを交えたリラクゼーションを体験しました。まずはみんなで輪になり、ストレッチなどで準備運動をしました。そのあと、二人1組になつてのマッサージ。一人が指を軽く曲げた両方の手のひらで、相手の首から腰までをパタパタとたたいていくと体がポカポカと温かくなっていきます。

次に向かい合って、お互いの手のひらや腕をマッサージしました。体中が温まり、会話も笑顔も自然と多くなっていました。

参加者からは「肩こりや腰痛も体がポカポカと温まったおかげで楽になりました」「1日の中で少しでも時間を作ってリラックスしたいと思えた」などと好評でした。





清明小3年生が上田市の歌をつくる 提供／清明小学校

清明小学校の3年生(現4年生)が、この2月の総合的な学習の時間に、2クラス63名でつくった「大好き上田市 大好き清明」の歌を披露しました。

子どもたちは、1・2年生の町探検や、3年生の地域学習で学んだ地域や学校の良いところを、世界中の人に知ってもらいたいと願い、一人ひとりが、その良さを俳句と絵で表現し、学校のホームページにも載せました。そして、みんなの思いを一つの作品にしようとの歌をつくりました。

歌詞は俳句をつないでつくり、「作曲チーム」の児童数人が口ずさんだメロディを、2組担任の高橋樹教諭が楽譜にしました。歌は5番構成で、「上田城のやぐらには うすも色のしだれ桜が 似合ってる」「ぎおん わっしょい にぎやかに」「音楽村には ゆらゆらゆれるコスモスが」「太郎の山に雪光り」「大切な自主の校風 うけついで」など、上田の四季や、清明小の特色を歌詞にしています。歌は同月に行われた学習発表会で、全校児童や保護者にも披露し、好評でした。高橋教諭は、「子どもたちは、地域や母校の良さを見つめなおし、自分の思いを伝えることの大切さを実感できたと思います」と話していました。

総合的な学習での発表の様子は、上田市行政チャンネルで3月に放送。現在は上田市ホームページでご覧いただけます。



読者通信は、市民の皆さんからの話題提供や投稿でつづるコーナーです。